

1. 短期予測 (p. 1)

① [日本株高の背後のヘッジファンド]

最近、ヘッジファンド 20 社以上の幹部が日本を訪問。一定の条件と引き換えに、「日本株高→小泉再選」支持を約束。

② [アメリカの打出の小槌と化した日本]

小泉政権は、ドル買支えの為に今年に入って累積 10 兆円以上を「ドル買い→米国債買い」に投入している。

③ [金融緩和ではデフレ不況は防げない]

金融引締めは景気過熱を抑える事は出来ても、金融緩和がそれだけで、景気下落を上昇に転化させる事は出来ない。

2. 長期展望 (p. 5)

トヨタ自動車は、史上最高益を驀進中である。しかし、同社は史上最大の危機に陥りつつある。フォード、GM の両社とも経営は奮わない。8 割の利益を稼ぐ北米市場でトヨタは最大の政治的危機に直面しようとしている。

3. 展望①ダスキンの深層 (p. 7)

ダスキンの深層には、日本の闇社会、そして朝鮮半島を結ぶ地下世界が広がっている。これは、ブッシュ政権誕生以降の北朝鮮封じ込め、将来の金正日政権打倒への環境整備、布石である。

4. 展望②イランの核開発：ロシアの選択 (p. 10)

ロシアはイラン・ブシェール原発を建設支援しているが、イランはロシアの思惑を大きく越えて核開発計画を推進し始めた。プーチン大統領はアメリカと協力して、イランの核開発計画を封じ込める決断をした模様だ。

5. 展望③「新世界秩序」をめぐる

ブッシュ政権内の暗闘 (p. 1

5)

ブッシュ政権の外交路線はネオコン（新保守主義派）に乗っ取られたとの見方は正しくない。中東でも北朝鮮でもパウエル国務長官に代表される国際主義派が主導権を握り返しつつある。

TEL 03-3650-1475 FAX 03-3650-7873